

大雪山国立公園表大雪地域山岳関係者による  
情報交換会議事録

日時：平成 25 年 6 月 7 日(金)

13:30～15:30

場所：美瑛町「四季の情報館」

1. 開会：司会進行 佐藤自然保護官

2. 開会挨拶：野川自然保護官

確認事項（佐藤 R）

当日資料の不足確認

当交換会の議事内容は後日環境省や大連協の HP で公開したいこと、共同通信の記者が来ている旨を伝達。

3. 情報交換

■出席者自己紹介

28 団体、出席者 35 名（うちスタッフ 5 名）別紙名簿参照

■各団体からの報告（資料 1 より）

各機関より今年度の登山道における整備予定箇所、活動予定箇所等の報告が行われた。  
（欠席の美瑛町役場は美瑛山岳会が代読、大雪山国立公園パークボランティア連絡会及びガイドオフィス風の計画は司会が代読）

資料 1 への記載事項に付け加えて説明された計画は下記のとおり。

上川中部森林管理署：6/8 から 10/11 まで GSS を雇用し、巡視活動など行う予定。

上川南部森林管理署：5/20 から GSS を雇用し、高山植物盗掘パトロール、登山道巡視等行う予定。

上川総合振興局環境生活課：白金、望岳台、吹上温泉、また現在は土砂崩れで通行止めだが天人峡遊歩道のトイレの維持管理、高原温泉沼巡りコースに仮設の橋を設置を予定。

上川総合振興局南部森林室：例年通り、7月上旬から9月中旬まで巡視員を雇用し、高山植物盗掘防止パトロールを行う予定。

東川町：土砂崩れがあった天人峡遊歩道について関係機関と連携を図り早急に復旧を図り

たい。

上富良野町：上富良野十勝岳山岳会へ登山道の枝払い等を依頼予定。

美瑛町役場（美瑛山岳会が代読）：十勝岳火山砂防情報センターの階段の亚克力板を取り替える。8月一杯かかる予定。

日本山岳会北海道支部：高山蝶、高山植物の盗掘防止パトロール、開花状況、シカの食害等確認、セイヨウオオマルハナバチ監視活動等を行う予定（25名・105人日分）。上川・十勝周辺に高山植物の高山植物のパンフレット配布を予定。

上川山岳会：6月下旬に黒岳7号目付近の残雪カッティングを予定。

美瑛山岳会：H22に美瑛富士へのルートに設置した木道及び北向沢のハシゴの維持管理、黄金ヶ原周辺のハイマツも刈払いたいと考えている。

上富良野十勝岳山岳会：カミホロカメットク避難小屋の扉が壊れ、先日雪出しを行った。

層雲峡VC：主に黒岳・赤岳・緑岳のリアルタイムな情報を発信。通年、観察会開催予定。

北海道山岳ガイド協会：ボランティアとして資材荷揚げ等の労働力の提供・協力を行いたい。

北海道大学大学院：「NPO 法人山の ECHO」で「山はみんなの宝」憲章、及び大雪山入山者ルールに関する意見交換会“を行った。発行元が異なるパンフレット毎で入山に関するルールが異なるため、出回っているパンフレットを集め、統一したものを作りたい。また6月に「山はみんなの宝」憲章を制定予定。また、山のトイレを考える会」としては、清掃登山の実施、美瑛山岳会の登山道整備で資材荷上げの補助などに参加予定。「9月8日に山のトイレデー」実施。登山口でマナーパンフレットなどを配布予定。

りんゆう観光：黒岳石室は6/15オープン。石室の管理、黒岳バイオトイレの協力金の徴収率アップに協力したい。

(有)風の便り工房：ヒグマ情報センターの管理、高原温泉に点在する沼の沼巡り、登山地図の作成。

山楽舎 BEAR：大雪山のガイド、登山講座、ゴミ拾い、笹狩り、環境保全登山等。

北海道山岳整備：現時点では未定だが、資料9、10（環境省の新規提案）に則り、近自然工法の登山道整備をやっていききたい。また、過去の近自然工法の記録・啓蒙活動を行いたい。

大雪山倶楽部：パトロール、マナーアップ、啓発活動を行う予定。

大雪山自然学校：清掃及び補修ボランティアツアーを予定している。また、東川町大雪山国立公園保護協会より旭岳自然保護監視員の業務を受託している。姿見園地付近の目印やロープ張り、登山道の軽補修、雪割り、姿見園地の3分レクチャー。望岳台、天人峡のトイレの清掃活動、旭岳野営場の管理。

大雪と石狩の自然を守る会：ヒグマ大学にて動植物や大雪山の成り立ち等について講座を行っている。

東川エコツアーリズム推進協議会：東川中心のエコツアーを開催。

## ■意見交換

意見交換での主な意見は下記のとおり。

北海道山岳整備：層雲峡本流林道（沼ノ原登山道に通じる林道）が通行止めだが、いつ開通予定か？

上川中部森林管理署：今年度工事は10/31まで工期で契約している。降雪前を目指す但未定。ユニ石狩の林道は、全ての沢との交差点で橋が損傷しており復旧は未定。予算要望はしている。

北海道山岳ガイド協会：ユニ石狩林道及びポンユニ石狩林道はできるだけ早急な復旧を望む。もし、署名を集めてそれで開通できるならば、署名活動する。

上川中部森林管理署：参考にしたい。

山楽舎 BEAR：天人峡から化雲岳に向かう登山道、滝見台の道は倒木や荒廃が酷く観光客では通行できない状況である。工事予定はあるか？

上川中部森林管理署：復旧は難しい。通行止めを検討中。

風の便り工房：天人峡・滝見台の通行止めがわかるのはいつか？地図を作成するために、期日を知りたい。

上川中部森林管理署：6月末までには結果を出したい。

山岳ガイド：ワサビ沼でのオオカナダモを除去していたが、数年で繁茂している。また自然保護監視員らしき人が旭岳・姿見園地付近でコマクサを除去していた。これまでコマクサの解説をしていたが何故か？

大雪山自然学校：本来であればコマクサは旭岳・姿見園地には生息していないはずの植物なので、自然の状態に戻すために外来種として駆除した。

※山岳ガイドからの質問について、司会より回答

外来種であるオオカナダモは除去しても数年で繁茂することは承知している。放置するのではなく、一定の管理圧を加えることが大事と考えている。また姿見園地でのコマクサについては、セイヨウタンポポをはじめとする外来植物除去の際に抜き取っている。セイヨウタンポポは外来種であり、園地に訪れる利用者の靴など種が付いてきたなど、人為によって広まったと考えられる。コマクサについては国内種ではあるが、姿見園地には元々生育しておらず、人によって持ち込まれたもの。過去に持ち込んだという者の証言もあった。よって抜き取ったもの。

## ■新規提案

説明：司会

従来、情報交換会では関係団体から提示された活動計画を聞くのみというスタンスだった。今般、慢性的な人員の不足を解消と持続的できめ細やかな維持管理を目的として、協働型に取り組む関係者に限っては、情報交換会時に各団体から提案のあった活動計画の範囲で、かつ管理者が行う作業の一部について、お互いに補完し合い、相互乗り入れ可能としたい。また作業内容は、事後に簡易な様式により自然保護官事務所にFAXを願いたい。自然保護官からは土地所有者や行政団体、担当山岳会にFAXなどで情報を転送し、情報共有したい。メリットとしては、報告者は現地の状況を管理者側に知らしめることができ、また貢献をPRでき、管理者側では現地状況の把握が行え、また工法や資材提供などについて提案もできると考えられる。

上川中部森林管理署：一般登山者から見て、作業者なのか、盗掘者なのか、わかるようにすべきではないか？

司会：腕章や身分証等を配布し、それを付けながら作業してもらうなど、対応を考えたい。  
北海道山岳整備：協働作業報告書の報告は事後報告でいいのか？提案してからののか？事後報告ならば道とか勝手に作ってしまう場合も想定される。事後報告の限度はどの程度を想定しているのか？

司会：事前が可能であれば好ましいが、今回の提案は、資料1～3に出ている計画に限って、作業を補完し合い事後報告するという仕組みである。枝打ち、ロープ柵補修程度を想定しており、急遽対応の必要な箇所は別途調整するつもり。コース変更などの大きなものはこの範疇にはない。

北海道山岳整備：天人峡から化雲岳間、クチャンベツから沼ノ原間など登山道が酷く荒廃している。各登山道の荒廃ポイントを知りたいが、把握しているか？

司会：今年度、コンサルタントへの業務発注による登山道調査を予定している。その業務内で把握できると考えている。

北海道大学大学院：コンサルタントの調査は判ったが、我々登山道関係者とコンサルタントの調査者では荒廃への認識が異なるかもしれないので、登山道関係者からの情報も集約することも必要である。

司会：良いご指摘だと思う。協働の関係者のみなさまにも別途アンケートなどを送らせていただくので、把握している荒廃状況をお知らせ頂きたい。

山楽舎 BEAR：前回も言ったが、情報共有がFAXや紙媒体とあるがアナログすぎる。一目でわかるフェイスブック等を使った方がいい。

司会：フェイスブックを全員が活用しているとは思わず、簡単確実な方法としてFAXを考えた。この中でフェイスブックを活用している方は挙手願いたい（フェイスブック利用について会場に尋ねると、利用者は半数ほどの人数）多くの方が活用していることがわかったのでフェイスブックの活用については持ち帰り検討したいが、まずはFAXでの運用を進めさせてほしい。

北海道山岳整備：直轄工事がはじまって10年が経つが、技術・人・行動力がないために、荒廃も進み、10年前と変わっていない気がする。実際に設計・施工をしている業者を情報交換会へ呼んでは如何か。

司会：歩道工事の設計者等と呼ぶのは良いアイデアだと思うので次回情報交換会には声かけしたい。また、今年度工事の中岳裾合平線の登山道工事は、石組みによるステップアンドプール工とフトンカゴ工を併用することとしている。多少はメンテナンスが減ると思われる。

美瑛山岳会：今時期も望岳台には観光客やツアーバスが入っているが、トイレがまだ開いていなく、観光協会にトイレに関する苦情の電話が増えている。また、古いので直してほしい。

上川総合振興局環境生活課：北海道では国立公園内の新規整備は行わない方針となっている。現存施設トイレの改築の要望をすすめる。道の予算は、緊急及び危険度を反映して予算の割り振りを決めている。昨年度は忠別避難小屋を補修させてもらった。また、レストハウスが開かないと、水が引けないのでトイレを山開き前から開放するのは難しいが、維持管理には努めたい。

#### 4. その他

司会：昨年12月の情報交換会で、美瑛山岳会に協働型の作業支援について受け皿になって頂きたいと提案していた。従来より旭川山岳会など他地区からの人的支援を得て登山道整備を行っている。同スタイルが他の路線でも行えるよう、モデルケースとの意味合いもある。美瑛山岳会ではその後の役員会などで受け皿になることについて了承されたと聞いている。現在の進捗についてお話し頂きたい。

美瑛山岳会：「登山歩道修理等」ボランティア事業の説明。

これまで、一般登山者から整備についてお手伝いしたい、との提案を受けることもあったが、相手の技量等が判らず、受け入れにくかった。初年度は旭川山岳会や札幌等の登山愛好者に声かけをして人員は集まりそうだが、参加者が多すぎても運営が大変になるため募集を限定せざるを得ない。来年度も集まるのかどうか心配である。なお、荷揚げした資材により洗掘に対しどのような効果が得られるかは専門家の協力を得て評価を受けたい。

#### 5. 閉会（15：30）